



日合商は昭和52(1977)年に合板・建材を扱う流通業界の活性化と、関係官庁に意見書が提出できる組織として発足した歴史ある組織であり、業界唯一の国の認可団体です。その「会勢強化」は、業界の活性化につながるもので、また、新規会員・賛助会員の数が増えることで関係官庁への発言力も増し、社会的な影響力も拡大していくものと考えています。

# 年頭所感



日本合板商業組合  
理事長 足立 建一郎

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆さま、賛助会員の皆さま、  
本年も宜しくお願い申し上げます。

また、昨年の台風やこれに伴う豪雨災害で被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、昨年の世界の経済情勢を顧みますと、これまで世界経済の安定した回復基調にも地域による成長のばらつきがはっきりとしてきました。実質GDPは、米国では底堅く住宅投資は低金利の恩恵も見られました。一方欧州では成長ペースは伸び悩み、中国では減速となり、全般的には勢いを欠きました。国内では、台風やこれに伴う豪雨災害の影響、消費増税後の反動も見られましたが、軽減税率の導入や教育無償化等の消費増税対策による負担の緩和により消費の大幅な落ち込みは回避される見込みです。

本年の世界経済は、米中対立をめぐる貿易問題や英国のEU離脱に伴う先行き不透明感から大幅な回復期待は望み薄とみられています。一方国内

は、輸出の力強さは期待しにくい状況にありますが、企業収益の改善による設備投資の増加など内需がけん引する景気回復は続く見込みです。

昨年の住宅需要は、貸家の継続する着工減と消費増税の駆け込み等による持家と分譲戸建の限定的な増加、その後の反動の影響から全体では前年比で微減すると予想されます。本年は減少トレンドにあるものの、政府による駆け込み効果平準化策等により大幅な落ち込みは回避されると予測されます。

また昨年の国内の住宅資材は、国産針葉樹合板の需要用途の拡大が一層進みました。本年も輸入に関連する合板や建材などは、産地からの供給の安定化が望まれますが、国内の針葉樹構造用合板も用途分野ごとの需要に見合った供給が望されます。

このような環境のなか、日合商は合板をはじめとする建材需給の安定化や合法木材等の利用と普及・拡大を主要な活動とし、取り組んでまいりました。特にクリーンウッド法の普及にともない、本年も、引き続き合法木材等の利用促進、木造建

築物への補助政策の拡大等への陳情等により、政府施策と組合員の事業との関係性が深まるよう取組みを進めます。さらに「働き方改革」「ホワイト物流」に関連する人手不足や省力化投資等の問題は、深刻さを増しています。これにも日合商は積極的に対応を進め、組合員を中心とする勉強会・研修会等を各支部と共同で実施し、日合商の基盤強化を目指して参りたいと考えております。

日合商の会勢の強化に関しては、合法木材等の供給事業者の認定取得等のための入会による増加、一方事業撤退等による退会の結果、組合員数は806社(9月末日)となっています。引き続き、組合員・準会員・賛助会員の皆様のご協力を仰ぎ、1,000社を越える組合を目指して邁進していく所存です。

本年も、会員相互の「協調と連帶」のもと、情報の早期収集と発信を通じ、組合員の皆様の事業の拡大・強化に貢献して参りたいと考えております。

会員の皆様と連帯し成果を手に入れる年となることを祈念して、年頭のご挨拶とさせて頂きます。

jutec Group

C H A N G E

代表取締役社長  
足立 建一郎

そこに新しい「変革」が見えてくるはずだ。  
変えていかなければならない

「CHANGE(変化)」を「CHANCE(機会)」に

「突破力」をフル回転させながら、  
イノベーションを起こすためには、

ただ歴史にあぐらをかいていたのでは、  
いよいよ100周年へのカウントダウンが始まる。

昨年96周年を迎えた。

変革をこれからも

火  
破  
力

## 2019年12月23日開催の林野庁主催「令和元年度第3回木材需給会議」の検討結果

主要木材の入荷量			丸太							輸入製材品							合板			構造用集成材						
四半期	区分	国産材			輸入丸太				米材	欧州材	南洋材	北洋材	NZ/チリ	計	米材	欧州材	南洋材	北洋材	NZ/チリ	計	国内製造	輸入	計	国内製造	輸入	計
		製材用	合板用	計	米材	南洋材	北洋材	NZ/チリ																		
令和元年	7-9月	実績	実数(千m³)	3,146	1,190	4,336	527	23	22	86	658	478	664	104	172	83	1,501	841	589	1,430	490	218	708			
		前年比(%)	107.4	111.5	108.5	85.8	78.6	73.3	75.4	83.7	91.3	106.7	103.7	109.6	80.9	99.8	104.7	89.2	97.7	108.9	110.6	109.4				
	10-12月	見込み	実数(千m³)	3,300	1,280	4,580	550	34	20	85	689	420	590	103	160	80	1,353	850	644	1,494	500	200	700			
令和2年	年計		実数(千m³)	13,184	4,907	18,091	2,409	132	104	355	3,000	1,737	2,575	411	661	412	5,796	3,309	2,531	5,840	1,910	825	2,735			
		前年比(%)	103.9	109.6	105.4	94.4	86.3	81.9	92.2	93.6	84.1	100.4	95.9	99.9	98.9	94.4	102.9	86.6	95.1	105.2	101.5	104.1				
	1-3月	見通し	実数(千m³)	3,300	1,300	4,600	500	30	20	90	640	400	600	100	170	90	1,360	840	616	1,456	430	200	630			
	4-6月	見通し	実数(千m³)	3,300	1,320	4,620	600	30	30	90	750	450	680	102	170	110	1,512	850	614	1,464	460	210	670			
		前年比(%)	98.0	105.1	100.0	91.6	81.4	83.3	90.7	90.7	99.1	96.8	97.1	100.0	81.5	96.5	103.5	100.0	102.0	96.8	100.0	97.8				

2019年  
12月25日  
現在  
【グリーン購入法】に基づき  
事業者新認定・期限更新した20社

北海道 -④-0017 (株)テーオーフォレスト 代表取締役 小笠原 康正  
北海道 -②-0039 北進興業(株) 代表取締役 稲玉 祐司  
北海道 -0057 (株)マツダ 代表取締役 松田 英稔  
東北 -④-0026 (株)田浦 代表取締役 田浦 英典

東京 -④-0111 (株)ブライ&ウッド 代表取締役社長 安藤 和彦  
東京 -③-0128 DNP 住空間マテリアル販売㈱ 代表取締役 河合 秀哉  
東京 -①-0227 (株)トライリンクス 代表取締役 大田 健司  
東京・静岡 -①-0228 和竹建材㈱ 代表取締役 和田 昌之  
中部日本 -④-0037 戸本サンウッド(株) 代表取締役 戸本 伸  
中国・山陰 -③-0055 (有)イタケン 代表取締役 板倉 靖夫  
中国 -0101 光和化成㈱ 代表取締役社長 内海 康仁  
九州 -④-0027 (株)シェイ・エスさせぼ 代表取締役 中町 寿男

九州 -④-0029 竹林商事(株) 代表取締役 竹林 隆廣  
九州 -③-0037 (株)九銘協 代表取締役社長 峯 公一郎  
東京S -③-0008 (株)キーテック 代表取締役 中西 宏一  
東関東S -0013 丸玉木材(株)茨城工場 取締役工場長 似内 向  
東関東S -0014 丸玉木材(株)関東物流センター 取締役工場長 似内 向  
東関東S -0015 丸玉木材(株)関東物流センター 取締役工場長 似内 向  
東関東S -0016 丸玉木材(株)清瀬東物販センター 取締役工場長 似内 向  
東関東S -0017 丸玉木材(株)新潟物流センター 取締役工場長 似内 向

森の逸品、銘木フローリング

# 銘樹

MEIYU

選ばれし銘木の物語を、住まいへ

銘木を2mm厚の挽き板として  
贅沢に使用した  
「銘樹・ロイヤルセレクション」

永大産業株式会社 <http://www.eidai.com>

お客様相談センター  
TEL:0120-685-110  
受付時間 平日・土曜日 9:00~18:00  
休業日 日曜日、祝日、夏期休暇、年末年始

EIDAI 検索  
詳しくはホームページでご確認ください。

創業から半世紀の伝統と信頼性と高品質。  
「日々新・進」をモットーに、  
より良い製品提供に努めています。

昭和22年の創立からおよそ70年余年にわたり、常に高品質な製品を提供すべく  
様々なチャレンジをしてきました。おかげさまで良い評判をいただいています。  
「和」と「企業活動を通じて地域社会に貢献する」ことを  
経営の軸として守り続けています。  
これからもさらにみなさまのお役に立てるように、  
業界のリーディングカンパニーとして前進していきます。

人と木を結んで…  
**日新グループ**  
<http://www.nisshin.gr.jp/>

**日新ホールディングス株式会社**  
N NISSHIN

**株式会社 日新**  
本社工場 / 埼玉県所沢市西工業団地100 TEL:0859-47-0303  
第二工場 / 松江市西本町1062 TEL:0852-89-2211  
第三工場 / 埼玉県所沢市西工業団地70 TEL:0859-47-0303  
湖北工場 / 松江市富士見町3-13 TEL:0852-37-0301  
四国工場 / 徳島県小鳴門市横須町5-38 TEL:0885-38-6103  
三重工場 / 三重県多気郡多気町1343-1 TEL:0598-38-6003

**NS木質科学研究所**  
本社工場 / 埼玉県所沢市西工業団地102 TEL:0859-47-0606

**日新林業株式会社**  
本社 / 松江市殿町383 TEL:0852-23-3822  
鹿児島事業所 / 埼玉県所沢市西工業団地88 TEL:0859-44-3311  
境港工場 / 境港市西工業団地88 TEL:0859-44-3311

**湖北ベニヤ株式会社**  
本社工場 / 松江市富士見町3-13 TEL:0852-37-0301

**島根合板株式会社**  
本社 / 浜田市治田町1895-2 TEL:0855-27-1625  
第二工場 / 浜田市高橋町168-8 TEL:0855-27-1625

**島根県合板協同組合**  
本部 / 松江市殿町383 TEL:0852-23-3822  
東京事務所 / 東京都中央区築地4-1-1 (東劇ビル17F)  
TEL:03-3248-6661

**日新バイオマス発電株式会社**  
本社 / 埼玉県所沢市西工業団地46-1 TEL:0859-21-4591

# 環境と安心をかたちに

石巻合板は住みつづける人への環境と耐震性を提供します。

**環境** 間伐材等の有効利用。木の成長を育み森林をいきいき活性化!  
**国産材の有効利用**  
「木財」を無駄なく活用し、自然と調和を目指しつづけます。

**耐震** 筋交いの替わりに、耐震・耐久性に優れる針葉樹構造用合板!  
**壁倍率が4.0倍**  
ホルムアルデヒドが少ない接着剤を使用し、強度と耐久性を追求した製品です。

IPM石巻合板工業株式会社 <http://www.ishinomaki.co.jp>

本社 | TEL.0225-96-3111 FAX.0225-96-3116 E-mail honsya@ishinomaki.co.jp  
東京営業所 | TEL.03-5829-6691 FAX.03-5823-1215 E-mail tokyo@ishinomaki.co.jp  
東部営業所 | TEL.0225-96-3315 FAX.0225-96-3116 E-mail toubu@ishinomaki.co.jp

まちをつくる。  
暮らしをつくる。  
笑顔をつくる。

**三菱商事建材株式会社**  
www.mckenzai.co.jp

## 概要

2019年10月の新設住宅着工戸数は77,123戸（前年同月比7.4%減）で4カ月連続の減少となった。その内、木造住宅は45,717戸（前年同月比9.0%減）で4カ月連続の減少となった。季節調整済年率換算値は87.9万戸で前月比2.0%減、先月の増加から再びの減少となる。

利用関係別では持家が24,495戸（前年同月比5.6%減）で3カ月連続の減少、貸家は29,417戸（同比16.5%減）で14カ月の連続の減少、分譲22,896戸（同比7.0%増）で5カ月連続の増加となった。分譲の内訳はマンションが9,998戸（同比16.2%増）で3カ月連続の増加、戸建では12,726戸（同比1.4%増）と5カ月連続の増加となった。分譲住宅は増加したが、持家及び貸家が減少したため、全体で前年同月比7.4%の減少となった。

## 国内・外合板の供給量

10月の国内合板生産量は29.6万m<sup>3</sup>（前月比105.6%、前年同月比107.4%）と発表された。その内、針葉樹合板の生産量は28.6万m<sup>3</sup>（同比106.0%、

108.6%）となり、出荷量は29.4万m<sup>3</sup>（同比107.7%、105.3%）で在庫量は12.8万m<sup>3</sup>と減少した。出荷量は13カ月連続で前年を上回った数字となった。

輸入合板の10月度入荷量は21.5万m<sup>3</sup>（前月比115.1%、前年同月比77.9%）となった。国別入荷量はマレーシアが6.8万m<sup>3</sup>、インドネシアが8.0万m<sup>3</sup>、中国が5.0万m<sup>3</sup>となっている。今年累計は前年対比86.7%の入荷量になっている。

## 今後の見通し

国内合板は生産・出荷ともに高水準の状態で、29万m<sup>3</sup>台と過去最高の数量となり、低水準で推移している在庫量が更に減少した。トラック不足が強まれば、更に納期遅れが広がることが懸念される。

輸入合板は弱含みの状態が続いているが、現地シッパーが多少値上げを増えていることや、港頭在庫の調整がついており需給バランスが取れていることなど、好転の兆しが見えてきている。

国内・輸入合板で動きは違うが、今後は引き締まった相場展開になると思われる。

## 合板市況と今後の見通し

日本合板商業組合  
東京都ペニヤ板問屋協同組合  
新風会 猪爪 清和

# Rustic Face

ラスティック フェイス  
Rich J-Base | J-Base [天然木フロア]  
リッチ・Jベース(1本溝タイプ) | Jベース(2本溝タイプ)

モダンでありながら、  
素朴であたたかみのある風合い。  
木目の織りなす床の質感。

株式会社ノダ 本社 〒111-8533 東京都台東区浅草橋5-13-6(三明ビル) ☎ 03-51-4066(お客様相談室)

住み続ける人のことを、  
考えて、考えて、考えて、  
誕生した外壁材です。

PREMIUM SERIES  
窓業系サイディング  
**業界初**  
塗膜の変色・褪色  
**30年**  
**保証に対応**

人も住まいも、長く生きていく時代。  
住まいの外壁材にも、  
人生に、長く寄り添う役割があると思う。  
色あせにもひび割れにも強い進化した外壁材。  
それが、ニチハのプレミアムシリーズ。

※2017年11月時点、沖縄県の物件を除く。保証書発行には諸条件がございます。

NODA

ニチハ

壁を極め、世界の頂へ。  
ニチハは外壁材のリーディングカンパニーとして、スポーツクライミングを通じて豊かな社会づくりと夢に向かって挑戦し続ける人々を応援しています。

公益財団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会のオフィシャルパートナーです。



双日建材は、安心、安全な『住まい』づくりの良きパートナーであり続けます。  
『住まい』づくりのサポートを通じて、『ひと』に豊かさを提供します。

KANEKA

カガクでネガイをカナエル会社

ZEH、HEAT20など、

ますます高まる断熱要求に対応する

**高性能断熱材**

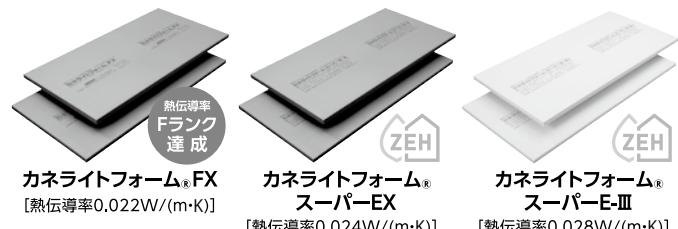
**カネライトフォーム の3大特性は、**

**高性能だから壁の厚みを抑えられます**

**外張り、充填どちらの断熱工法にも使えます**

**吸水・吸湿性がほとんどありません**

独立した小さな気泡の中に気体を閉じ込めることにより、  
熱伝導の三要素として知られる「伝導・輻射・対流」を抑制し、熱を効果的に遮断します。



カネライトフォーム®は、建材トップランナー制度対象製品(区分名:押出法ポリスチレンフォーム断熱材)です。

製造 株式会社 **カネカ** Foam & Residential Techs Solutions Vehicle

販売(問い合わせ先) **カネカケンテック株式会社** 本社:東日本営業部 〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-3-3 TEL.03(3596)7011

\*「カネライトフォーム」は、株式会社カネカの登録商標です。 西日本営業部 〒541-0045 大阪市中央区道修町4-4-10 TEL.06(6205)3621

お問い合わせは、カネカケンテック株式会社へお願い致します。

カネライトフォーム 検索 パソコン/スマートphoneから検索できます。



本 社: 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル21F TEL.03-6870-7800  
営業拠点: 大阪・名古屋・札幌・東北(仙台)・新潟・北陸(金沢)・静岡・中国(広島)・四国(高松)  
九州(福岡)・那覇・マレーシア・インドネシア

